

学校教育目標	自分大好き 友だち大好き 進め！笹山の子 自分らしさを発揮して、自ら学び続ける子を育てます。 互いのよさを認め合える心豊かな子を育てます。 心や体を鍛え、自他の生命を大切にすることを育てます。 地域の人・施設・自然を大切にし、共に生きる子を育てます。 社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。				
	学校概要	創立 46 周年	学校長 荻原 規彦	副校長 坂井 敦	2 学期制
児童生徒数： 75 人		主な関係校：上菅田小・新井小・上菅田中・新井中			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <学びに向かう力>	上菅田中学校 新井中学校 上菅田小学校 新井小学校 笹山小学校	自ら学ぶ子ども 仲間や地域とともに学ぶ子ども ・言語能力の向上を目指して、ブロック内で各教科、領域等の授業を行う(ブロックで年2回) ・児童生徒交流日に、6年生が中学校の授業、部活の体験をする。 ・学家地連などの児童生徒指導に関わる事業を実施する。

中期取組目標	「自分大好き 友だち大好き 進め！笹山の子」 育成のため、全職員の協働のもと、活力ある学校づくりを目指します。 ○ 学力向上のための学習環境を整え、子ども一人ひとりの学習意欲、学力が高まっています。 ○ 全ての子どもが安心して過ごせる生活環境を整え、子ども一人ひとりの自尊感情が高まっています。 ○ 創造性にあふれた学年、学級経営を推進し、魅力ある学校づくりを進めています。 ○ 開かれた学校づくりを推進し、保護者、地域の信頼に応える学校づくりを進めています。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>豊かな心</b>	①各学年の達成目標を職員が共有し、主体的に関わり学びをつくる異学年とのなかよし活動を展開し、子どもたち自身が具体の姿を意識しながら、なかよし活動を行えるように振り返りの機会を設ける。②地域の方との活動を通して、まちの人とのつながりを大事にした学習活動を計画する。
担当 人権教育推進委員会	
<b>生きて はたらく 知</b>	①課題を明確にした授業を行い、チームティーチングを効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を目指す。②学習の中で、問題解決のために自ら情報収集し、体験・検証、共有などを通して学び合い、振り返り、自己の考えの形成に至る力をつけるために支援を行う。
担当 教育課程推進委員会	
<b>健やかな心</b>	①体力テストの結果から、学校保健委員会のテーマを「体力づくり」に設定し、学校全体の体力の向上・生活習慣の改善を目指す。②リズムジャンプや長縄、ストレッチなど継続した取組を通して、互いに思いやりをもったり、自己の体の調子に関心をもったりしながら運動する。
担当 体育部	
<b>特別支援教育</b>	①少人数の環境を生かし、一人ひとりの児童の実態に合った学習、生活の支援を行う。②ねらいを明確にして個別支援学級と一般学級との交流及び共同学習を進め、相互の教育活動の充実を図る。
担当 児童支援委員会	
<b>児童生徒指導</b>	①笹山小学校のルールを全教職員で共有し、児童への指導にぶれがないようにする。また、現状に合ったルールになるように見直しを行う。②職員会議の児童理解の時間に、定期的な児童の情報交換を行い、組織的に児童への支援を行う。
担当 児童支援委員会	
<b>地域連携</b>	①「まちとともに歩む学校づくり懇話会」等を通して、地域と連携協働できる体制を継続していく。②地域コーディネーターと連携をとり、地域の教材を活かした単元開発、地域の方による学習支援を活かした学習を行っていく。
担当 教育応援隊	
<b>国際教育</b>	①日本語指導が必要な児童への支援の充実を図るために、国際教室の環境を整え、指導方法・教材を開発する。②英語教育では対話活動を取り入れ、コミュニケーションの楽しさを感じられるような学習を行っていく。
担当 国際部	
<b>いじめへの対応</b>	①月1回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知した案件の経過確認を丁寧に行うと共に、案件に関わりがある子、見守りが必要な子について全職員で共通理解し、再発防止に努める。②職員間で児童の情報交換を密にし、些細な変化に気付いた際には素早く対応できる体制を整えておく。
担当 いじめ防止対策委員会	
<b>人材育成・組織運営 (働き方改革)</b>	①ブロック研の充実を図り、児童理解についての情報を共有し、児童の実態に合う単元開発や教材研究を行う。②メンター研では、主幹やミドルリーダーが講師となり、校内での人材育成を図る。③限られた人材で自己の業務を遂行できるように、ブロックや部会など、連携・協働し合う体制を作る。
担当 教務・メンター	